

HORIBAがお届けする メガトレンドへの グローバル分析サービス



駒谷 慎太郎

KOMATANI Shintaro

株式会社堀場テクノサービス
ジュニアコーポレートオフィサー(理事)
分析技術本部 本部長
博士(工学)
Junior Corporate Officer
General Manager
Analytical Technology Division
HORIBA Techno Service Co., Ltd.
Ph. D.

駒谷 慎太郎

近年、私たちを取り巻く環境は人口増加に伴うエネルギー問題や環境汚染への対応、人々の健康を支える医療や働き方改革など大きな変換点を迎えています。

これら社会変化に伴い、テクノロジー面でのイノベーションが促進され、デジタル社会の浸透や遺伝子治療などの先端医療、クリーンエネルギーへの転換に伴うカーボンニュートラルなど、企業の研究・開発・生産などの活動に求められる役割・期待は大きくなっています。

このような状況において、研究開発活動における分析・計測への技術革新、得られるデータの信頼性やデータセキュリティによる安全性担保など、分析・計測への期待が高まっています。またイノベーションのスピードが求められる中、企業や研究機関は従来の設備投資、人財育成を自前で行うだけでなく、アウトソーシングやコラボレーションを通じた効率的な研究開発活動を検討され始めています。

HORIBAとしてもこの社会潮流を捉え、従来の製品販売だけでなく、HORIBAのユニークな装置、技術、ノウハウを元に分析・計測アプリケーション開発を加速し、新たな分析・計測ソリューションを創出し、「はかる」技術として研究開発を支援することで、顧客とのパートナーシップを更に強固にしていきます。

グローバルで新たな「はかる」技術の価値づくりを目指す

一方、世界を見渡すと各国政策、地域特色の違いにより、社会課題へのアプローチ方法が国々、地域により異なります。

HORIBAには世界に18拠点、自社の分析・計測装置を配備した分析ラボがあります。ここでは従来の装置販売のためのデモンストレーションやお客様の開発チームがテスト分析だけでなく、「はかる」技術を元にした新たな分析手法の開発、受託分析

や試験の提供、更には企業や大学等の研究機関との共同研究を行うラボとして変革を進め、各地域に応じたアプリケーション開発や分析・計測ソリューションを提供できる体制を整えています。

そのため従来の『HORIBA 分析センター』から『Analytical Solution Plaza』と名称を変更し、役割を明確化・先鋭化することで分析のプロが集い、お客様の多様なニーズに応じたHORIBAならではの新たな分析・計測価値創出とソリューション提供する場として、活動を加速しています。

その一例として、日本のAnalytical Solution Plazaで行った「はやぶさ2」プロジェクトに参画し、「はかる」技術を元にした挑戦をご紹介します。

2020年12月JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから砂を持ち帰り、2021年6月にその初期分析を行い、リュウグウは有機炭素に富んだ太陽系の平均元素組成(太陽)に近い組成を持つ小惑星で、構造水や水質変性によって生成された炭酸塩が確認されました。これまで前例のない極微量で貴重なサンプルの分析を要求される本プロジェクトに参画し、最適な分析原理や手法、サンプリング方法・前処理・治具・解析技術をオリジナルに開発・提案しながら、蛍光X線顕微鏡(XGT-9000)による元素分析、顕微ラマン分光装置(LabRAM)による炭酸塩の確認、新型材料中炭素・硫黄分析装置(EMIA-STEP)による炭酸塩や有機物の定量分析と、またそれら過程における試料のハンドリングなど、既存の分析・計測における課題に対して新たな価値を生み出すことで、Only Oneの分析・計測ソリューションを提供することができました。

このように我々は装置販売や既存の分析・計測ソリューションだけでなく新たなアプリケーションを創出することで、変化の時代においても今までと変わらず「はかる」技術を軸にお客様の研究開発活動を始めとした企業活動を支援していきます。

新しい分析原理や既存技術に基づく分析・計測装置の開発だけでなく、分析手法やソフトウェアなどのアプリケーション技術開発、また分析データの信頼性や安全性を担保できるソリューションも含め、分析・計測における新たな価値を創造し、これらの知見をデータ化し、更に分析・計測装置開発へ活用することで分析・計測技術の発展に挑戦し続け、お客様へ高付加価値なソリューションを提供できるパートナーとしての使命を追求し続けます。

これからもHORIBAは研究・開発から製造、品質検査ラインにおける分析・計測まで「はかる」技術でお客様の期待に応えていく所存です。

このReadout No.56では、「はかる」技術で、お客様にソリューションを提供するために、創意工夫された新しい施設Analytical Solution Plazaの紹介と、国内外拠点での分析ソリューション提供への取り組みとして、成長・注力分野である「エネルギー・環境」「先端材料・半導体」「バイオヘルスケア」の3つの事業分野に向けたアプリケーションを掲載します。

世界各国でHORIBAの分析技術がお客様密接に連携し、新たな価値をもたらし続けることをお約束します。

*編集局注：本内容は特段の記載がない限り、本誌発行年時点での自社調査に基づいて記載しています。